

エクセルシア祭3日間、日南高校生全員が輝いていた。係ということもあり一眼レフカメラのファインダーから、さまざまな日南高校生の一コマを切り取ろうとシャッターを切った。

私は写真というものは大きく2つの役割を含んでいると思っている。一つは「記録」として残す写真。例えばレストランで料理が出てきて、スマホで写真を撮ってから食べたり、学校行事においてイスや看板の配置など大まかな雰囲気を撮っておいたりする。もう一つは写真を撮る人間が感じたことを他人に伝えたいという「メッセージ性」がある写真。今回のエクセルシア祭では「記録」ではあるが、このメッセージ性のある、生徒たちの感情が伝わる写真を残したいと思いながらシャッターを切った。「成功させたい」「感動させたい」「楽しみたい」などの感情が伝わる場面ばかりで、結果私はたくさんシャッターを切ることになった。たとえマスクで口元が隠れていても、強い思いというのは伝わるのだと感じた3日間であった。きっと来年もこの時期、メッセージ性のある写真でSDカードが埋まるのだろう。

さて、2年生も折り返して、いよいよ進路実現に向け真剣に向き合う時期がきた。東京パラリンピックで、男子100m バタフライ(S11)で金メダルを獲得した木村敬一選手は、リオパラリンピックで金メダル選手を育てたコーチの下で指導を受けるためにアメリカに修行へ行っったという。「世界一になるには、世界一になった人の練習をしてみるのが一番手っ取り早いと思った」とインタビューで語っていた。一人で学習の計画を立てるのは大変である。ならば、コーチの存在がやはりカギとなる。本校にも過去の経験を駆使してコーチングができる先生たちがたくさん居る。先生たちをコーチとして頼ることも手なのかもしれない。

1学期のデータを見ると、2年生の学習に関する課題として、家でのスマホの使用時間の多さが挙げられる。スマホの使用については、以下の記事を参考にしてほしい。まずは些細なことから向き合おう。

携帯禁止で成績向上、週1時間の勉強時間追加に相当

携帯電話の使用を学校が禁止すると成績の向上につながるの研究結果が示された。ロンドン(CNNMoney)学校が携帯電話の使用を禁止すると、生徒の成績が大幅に向上するとの研究結果を、ロンドン大学経済政治学院の研究チームが発表した。チームでは、2001年以降、英国内91の学校の携帯電話に関する規則の変更を調査し、生徒たちが16歳の時に受ける全国学力試験の結果との相関関係を調べた。調査対象の生徒は13万人に上った。その結果、校内で携帯電話を使うことを禁止した学校では、試験の平均スコアが6.4%上がったことが分かった。特に成績不振の生徒では、スコアが14%も伸びていた。これは「授業時間を週に1時間追加する」あるいは「年間授業日数を5日増やす」といった措置と同等の効果に当たるという。

研究者らは「一部の生徒は携帯電話に気を取られ、影響を受けており、携帯端末などの技術が成績向上に役立つ可能性を否定するわけではないが、誘惑が大きいのは確かだ」と述べた。

イギリス研究機関「The London School of Economics (2015年)」

【週行事予定】

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
9	11	土				
	12	日				
	13	月	教育相談アンケート	○	○	7:25 登校
	14	火	⑤-⑥未来戦略課研究発表会 ※オンライン(1,2年)	○	○	7:25 登校
	15	水	⑦100周年生徒活動時間Ⅲ 進路希望調査Ⅱ	○	○	7:25 登校
	16	木	⑧各種委員会Ⅳ(必) 奉仕活動(12HR)	○	○	7:25 登校
	17	金	100周年実行委員会Ⅵ16:20-	○	○	7:25 登校
	18	土	土曜講座 B ホキヤコンⅡ ベネッセ・駿台マーク(3年)			
	19	日				
	20	月	敬老の日			
	21	火		○	○	7:25 登校
	22	水	⑦壮行式Ⅲ(※922) ⑧100周年生徒活動時間Ⅳ	○	○	7:25 登校
	23	木	秋分の日			